

事業報告書

第6期

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会

静岡県御殿場市中畑1691番地の14

平成30年度事業報告

1. 事業の実施に係る事項

1) 富士山に残されている天然林を保全、活用する事業

《事業》植生防護柵の点検、周辺部の食害調査

《目的》国有林に設置した8基の柵の点検、修復、植生復元状況調査、設置場所の検討など

《実施日》4/17・5/12・5/21・6/3・9/13・10/11・12/7

《内容》破損等の点検、ステーの交換、倒木除去、植生回復状況の確認と記録
周辺地域の食害状況の目視調査、写真撮影による記録

《事業》国有林南山山林道付近への植生防護柵設置

《目的》森林の植生を保護

《実施日・内容》

4/17 設置位置の確認(雪代のため)

8/21 設置場所変更のため計測

10/26 静岡森林管理署、常葉大学生と協働で設置 (23名)

《事業》蜘蛛の生息調査

《目的》植生防護柵の効果を検証

《実施日》9/13

《内容》調査者・日本クモ学会. 久保田克哉氏 (他4名)

旧須山口周辺に設置した植生防護柵内外の蜘蛛の生息状況を調査 (予備調査)

《事業》センサーカメラによる動物調査

《目的》動物の生息調査およびニホンジカの活動を通年調査

《実施日》4/17・6/3・6/19・8/21・11/6・11/8・12/27・2/7

《内容》センサーカメラ点検・電池/メモリ交換・回収・設置

活動報告「富士山南東斜面における長期動物調査」作成

2) 富士山の森林で過去に失われた生物多様性を復元し、水源涵養力を保全するための事業

《事業》国有林の富士山クラブ西白塚ウラジロモミ人工林の混交林化計画

NPO法人富士山クラブと協働で実施

《目的》人工林を天然林に復元するための実験

《実施日》9/9・9/11・10/23

《内容》現地状況確認・ブナの種子調査・地搔き種子蒔き作業に参加(富士山クラブ)

活動報告「ウラジロモミ人工林の混交林化計画 中間報告」を作成

3) 地域の環境教育に富士山の自然環境を活用する事業

《事業》常葉大学森林学習・調査体験 1)と同時に実施

《目的》森林についての理解を深める

《実施日》5/12

《内容》常葉大学ビオトープ研究会(山田名誉教授指導)学生を対象に東白塚周辺の森林学習と樹木の測定方法などの調査体験を実施(23名)

《事業》自然観察会

《目的》富士山の自然環境と生物多様性について理解を深める

《実施日・内容》

5/21(須走口)会員と有識者による調査と学習会 講師 佐藤孝敏氏(10名)

6/7(御殿場市内)目黒学院(高校生)森林観察で講師を担当

7/31(御殿場口)観察会下見および自然環境調査(植栽状況など)

8/5(ふじさん豆博士事業)御殿場口火山高原の自然観察会・御殿場小山ボーイスカウト

10/14(御殿場市内)キリン・ランドネ「水をめぐる森の教室」で講師を担当(13名)

《事業》環境教育フィールドの整備

《目的》水ヶ塚～東白塚遊歩道の再開

《実施日》12/27・2/7

《内容》旧遊歩道のイエティ側ルートの現況調査を実施

《事業》パネル展示

《目的》森林保全活動の重要性と意義の啓発

《実施日》6/16～(玉穂ふれあい文化展) 8/25～(ふらっと展・ふじざくら)

10/27～28(わくわくごてんばフェスタ2017)

《内容》「富士山の森と生物多様性」をテーマのパネルを展示

4) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

《事業》講演会

《目的》演題「日本の森の歴史と富士山」

《実施日》5/27 (於：市民交流センターふじざくら ボランティアビューロー)

《内容》講師 近田文弘氏

《事業》御殿場口雪代堆積地の生物多様性保全 (御殿場市ふじさん豆博士事業)

《目的》御殿場口の自然環境保全・帰化植物・侵入植物の駆除

《実施日》8/5

《内容》御殿場小山ボーイスカウトによる侵入種駆除活動で指導を担当 (約50名)
冊子「富士山御殿場口の自然観察」を作成配布、観察ループを配布

《事業》地元企業の生物多様性プロジェクトに協力

《目的》環境学習フィールドの創出

《実施日》11/20・12/18

《内容》日立ハイテクサイエンス小山事業所のJFEP認証生物多様性プロジェクトを支援
定点全天撮影(11/20) 野鳥調査(12/18)
活動報告「地元企業への事業支援記録 2016～2019」を作成

《事業》富士山国有林小山町借受地の自然環境調査

《目的》環境教育のフィールドとしての調査

《実施日》5/21

《内容》植物相調査と雪代被害の確認

※ 活動の中で作成した冊子・報告書はホームページで公開している。

2. 総括

活動が充実、進展し、報道、情報発信により当会への理解が進み、企業の協力、各団体などとの協働が進展した。

活動記録写真と作成物



《2018年4月17日～》植生保護柵設置予定箇所の調査。植生保護柵の点検被害確認・周辺部の食害状況調査など。



《2018年5月12日》常葉大学ビオトープ研究会の皆さんと植生保護柵の補修作業と森林の勉強会を実施。



《2018年5月21日》小山町借受地の雪代被害調査、小富士遊歩道の森林の動物調査用カメラの設置場所の検討を実施。



《2017年5月27日》近田文弘先生による第一回会員セミナー「日本の森の歴史と富士山」を開催



《2018年6月3日・10月11日・11月8日・12月7日》須山口周辺の植生保護柵点検・柵の点検とセンサーカメラの設置・柵内の樹木成長調査・東白塚草原の柵の支柱修理。



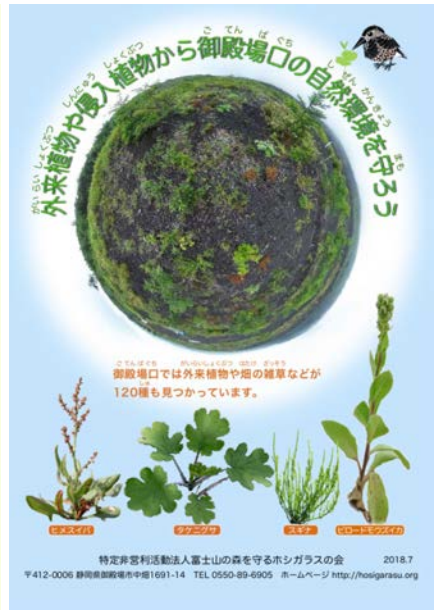
《2018年6月7日・10月14日》NPO土に帰る木・森づくりの会による目黒学院森林学習と、麒麟・ランドネ水を巡る森の教室で講師を担当。



《2018年6月16～17日・8月25日～9月7日・10月28日》パネル展示による啓発活動 玉穂ふれあい文化展パネル展示・ふらっと展・元気わくわくぐてんばフェスタ2018。



《2018年6月19日・8月27日・他》温度センサーロガーによる気温地表温度地中温度の連続調査・地表温度調査・土壌水分量調査・雨水成分調査などを実施。



《018年8月4日》御殿場市交付金事業「ごてんばの富士山豆博士事業」として、観察ガイド「富士山御殿場口の自然観察」を作成。御殿場口の自然観察と侵入植物の駆除活動を実施。(観察ガイドはホームページで公開)



《2018年8月21日》植生保護柵の設置位置検討と動物調査用センサーカメラの設置。



《2018年9月13日》環境指針となる蜘蛛に着目し、予備調査を実施。次年度より本格調査に入る予定。



《2018年9月9日・9月11日・10月23日》試験地の現状調査と周辺のブナの実の状況調査・周辺天然林の観察(葉の大きさから遺伝子が異なると思われるブナの植栽を富士市区域で確認)・西白塚試験地・地掻きと苗づくり(NPO法人 富士山クラブ) これまでの活動および調査報告書の作成(ホームページで公開)



《2018年10月26日》静岡森林管理署、常葉大学の皆さんと協働で9基目の植生保護柵を設置。

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会
〒412-0006 静岡県御殿場市中畑1691-14
TEL 0550-89-6905 FAX0550-73-0434
ホームページ <http://hosigarasu.org>
Eメール info@hosigarasu.org